

# 19年度・後期 受講生募集

本授業は、京都大学で学んできた新進気鋭の若手研究者が、各自の研究内容に即して人文学の基礎的な考え方についてリレー形式で講義を行うものです。

現代は社会的分断が進行し、個人が孤立を深めているといわれています。しかし一方で、自然災害の被災地などでは全国から集まったボランティアが大きな役割を果たしています。また、インターネットやSNSが普及することで、かつてならば出会わなかったかもしれない・モノ・情報が出会うことになりました。しかし、ときにはそれが、他者への不寛容や排外主義的な暴力を後押しすることに繋がることもあります。こう考えたとき、私たちはかつてよりもいっそう複雑な「つながり」を生きていることに気付かされます。

そこで本授業では、社会学、歴史学、心理学、哲学などの観点から、「コミュニティ」と「コミュニケーション」について広く扱うことで、複雑に絡み合った「つながり」の綾(あや)を解きほぐすことを試みます。社会学では、排除と包摂にかかわる多様な実践から、歴史学では、私たちの生活する街の歴史的由来から、哲学や心理学では、意識伝達の基礎となる「言葉」や「意味」の働きから、「つながり」について分析・解明していきます。このように異なる学問分野から、「コミュニティ」と「コミュニケーション」を理解する方法を知ること、時代に流されない柔軟な態度のもと、改めて「つながり」を問い直すことができるでしょう。

なお、各回の授業では学生による質疑応答やグループディスカッションなどアクティブ・ラーニングを活用することで、学んだ知識を自らの問題関心と結びつけ主体的に考察する力を養うことも目指します。皆さんが積極的に参加してくれることをお待ちしております。

## つながりを問い直す コミュニティとコミュニケーション

2019. 9.26 ~ 2020. 1.23  
木曜 16:20 ~ 17:50

@ キャンパスプラザ京都 4階 第4講義室

履修登録期間: 4月&9月 (詳しくは所属大学の教務課まで)  
定員: 30名 (先着順)

単位互換制度・出願手続の詳細は以下のURL or 右下QRコードより  
[http://www.consortium.or.jp/special/tani\\_gokan/index.php](http://www.consortium.or.jp/special/tani_gokan/index.php)  
<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/literature/consortium/index.html>

過去の講義については以下のURLより  
<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/literature/consortium/index.html>  
連絡先: 京都大学文学研究科教務係 (075-753-2809)

### スケジュール

- 9.26 インタロダクション (伊藤 和)
  - 10.3 & 10.10 日本の「ハーブ」と人種主義  
南アフリカ: 「黒さ」の肯定と解放運動 (山本)
  - 10.17 & 24 マイノリティとマジョリティ (許)
  - 10.31 & 11.7 科学と疑似科学の狭間で  
血液型性格診断 賛成派と反対派とを検討する (鈴木)
  - 11.14 & 28  
他者とつながる動物心理学 (別役)
  - 12.5 & 12  
地図から京都市の近代化を読み解こう! (白木)
  - 12.19 & 26 未知なるコミュニティとしての哲学者たち  
まとめとレポートの書き方 (伊藤 遼)
  - 1.9 & 23 レポート指導と発表 (長岡・全員)
- \* 授業内でレポートをほぼ完成させることを目指します

### 担当講師

京都大学 文学研究科	教授	伊藤 和行
京都産業大学	非常勤講師	長岡 徹郎
京都大学	非常勤講師	山本 めゆ
神戸学院大学	非常勤講師	許 燕華
京都大学	非常勤講師	鈴木 真奈
神戸女学院大学	非常勤講師	別役 透
京都大学	非常勤講師	白木 正俊
京都大学	非常勤講師	伊藤 遼

# 京都大学で学ぶ 人文学

京都大学提供 単位互換科目

**アクセス**

堀川通 西院通 新町通 室町通 烏丸通 東院通 N

堀小路通

キャンパスプラザ京都

武田病院 中央郵便局

バス乗り場 Taxi乗り場

鳥丸中央口

ビックカメラ 伊勢丹 京都駅ビル

JR・近鉄 京都駅 八条口 地下鉄 京都駅

京都駅 烏丸中央口を出て左に徒歩5分 (自転車置き場はビル南側にあり)



大学コンソーシアム京都・プラザ推奨科目 (単位互換・後期開講) テーマ「H. 現代社会を学ぶ」  
科目番号: H003 提供 京都大学文学部 後援 京都大学高等教育研究開発推進センター